



【Sharing Caring CULTURE が実施する多文化親子交流会の様子】

ヨコハマの国際事業の  
主な動きをお届けする

# YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 30 年 10 月 11 日  
多文化共生市民活動支援補助事業紹介特集  
【発行】横浜市国際局政策総務課  
企画担当 045-671-4710  
ki-somu@city.yokohama.jp

## 多文化共生市民活動支援補助事業

横浜市では、ラグビーワールドカップ 2019™や東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、多文化共生による創造的社會を実現していくため、「来訪外国人へのおもてなし促進」、「異文化理解の促進」、「在住外国人の活躍促進」に関する、市民団体やNPO法人等の活動への支援※を実施しています。この特集では、今回支援を決定した、5団体についての紹介を行います。

※詳細はこちら：

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kokusai/multiculture/tabunkahojokin.html>



### 国際交流横浜まどかグループ

補助事業で「英語で横浜ガイド・ワークショップと実践」を行う、「国際交流横浜まどかグループ」について紹介します。



国際交流横浜まどかグループ（中区）は、昭和 58 年に設立され、外国人を対象としたボランティア活動、交流活動、学習活動、チャリティ活動を 4 本柱として活動しています。

具体的な取組としては、横浜市内のガイドや英語でのガイドに興味のある市民向けに、「英語で横浜ガイド」「英語で日本文化紹介」のセミナーやワークショップの開催、30 年以上も三溪園で実施している国際花見があります。他にも、日本料理教室や民族衣装交流、着付け、茶道といった日本文化紹介も行っています。



### Sharing Caring CULTURE

都筑区にある Sharing Caring CULTURE は、2014 年に在住フィリピン人、韓国人と日本人が共に立ち上げた任意団体です。本団体は、外国人が自信をもって取り組めることで、日本での生活を楽しめる場をつくることはできないかと考え、“外国人が発信する場をつくろう！”と活動を始めました。言葉ではなく、料理やアート、ダンスなどの文化的な活動を通して、日本人＝支援する人、外国人＝支援される人の関係ではなく、ともに協働する社会をつくっていく

ため、地域の外国人と日本人が  
つながる場づくりをしています。

主な活動：

①外国籍主婦による多文化カルチャー講座

②多文化親子交流会

“みらい kids playgroup”

③週末家族イベント

活動場所：青葉区アートフォーラムあざみ野、青葉国際交流ラウンジ

補助事業で「外国籍主婦による多文化カルチャー講座」を実施します。



### 公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団

公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団（都筑区）は平成4年に、横浜に関連した歴史の理解に役立つ国内外の資料や文化財の収集や調査等を行うとともに、その成果を展示・出版等で



公開し、市民と共有することで市民文化の発展に寄与することを目的として設立されました。この目的を達成するため、横浜市歴史博物館・横浜開港資料館や横浜都市発展記念館、横浜ユーラシア文化館等の管理運営も行っています。



団体は、多文化共生のまちづくりを推進するため、様々な文化背景の中で先人たちが積み上げてきた横浜3万年の歴史・文化を、外国人市民も含む全ての市民と共有し、次世代へ継承していくことを目指しています。



補助事業で、「横浜市歴史博物館・遺跡公園の英文展示ガイドブック Yokohama History Museum Guide」を刊行します。



### 大倉山商店街振興組合

大倉山商店街振興組合（港北区）は、東急東横線大倉山駅に位置し、約250店舗で成り立っています。年間イベントである七夕祭り

やハロウィン、大倉山観梅会では、地域在住外国人や来訪外国人向けに英語のチラシを配布し、イベントへの参加を呼び掛けています。



中でも、大倉山を代表する名所である梅林で開催される観梅会では、大倉山記念館前におもてなしブースや地域の中学生による「野点ブース」を開設し、抹茶をたてる体験による日本文化の紹介、着物で梅林を散策する「レンタル着物」などを行っています。補助事業において、新横浜周辺の来訪外国人等に向けた、地元観光スポットの提案等を行っています。



補助事業で「来訪外国人・在住外国人へのおもてなしマップ作成と地域によるおもてなしパッチの作成・普及事業」を実施します。



### Connection of the Children

Connection of the Children（西区）は「全ての子どもが広い視野を持ち、誰もがやりたいことを実現できる社会」を目指し、旅を軸とした教育事業、国際交流事業を行っているNPO法人です。

### ●教育事業

- ・旅を軸とした旅人による出張授業「タビノバ」
- ・国内外へいくスタディツアー「タビターン」



### ●国際交流事業

- ・横浜市西区野毛山にある事務所兼多世代多国籍の交流スペースCASACOでの異文化交流
- ・横浜駅西口周辺でのインバウンド活性化の取り組み



団体はラグビーワールドカップ2019™、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けてインバウンド受け入れが増える中で、①横浜エリアのインバウンドの受け入れ態勢を整える、②日本人と旅行者の交流する機会をより一層増やし横浜の魅力を伝えるだけではなく、相互の学び合いの場を提供する、ことを目的とし、補助事業に取り組みます。

補助事業で「外国人がオススメしたい多言語横浜ガイドブック作り～外国人が活躍できる街YOKOHAMAを目指して～」を行います。